発行所：一般社団法人
奈良県作業療法士会　広報係
事務局：〒636-0151
奈良県生駒郡斑鳩町龍田北 4-2-26
TEL:0745-47-0823
FAX:0745-47-0825

【目次】

巻頭言…1　会長挨拶…2　各部局からのお知らせ…2・3・4
ブロックだより…5　委員会だより…6・7　エッセイリレー…7
施設紹介…8　メールマガジン登録のお願い…9
喜笑転結…10　問い合わせ…11

巻頭言

介護老人保健施設 鴻池荘
山本　江吏子

父から送られてきました
「増えてゆく　暗証番号　減る記憶」
「充電器　あったらいいな　人間用」
「正月は　箱根と決める　入浴剤」
「女子会と　云って出かける　デイサービス」
「こないだと　50 年前の　話する」

自分はまだ「若手」なんて思っていたのに、気がつくと作業療法士になって 20 年を超えていました。学生のころ「ひとを笑わせたいから作業療法士を目指す」と言って、教員に「よしもとの養成校ではない」と怒られました。川柳を送ってきた父からは、「仕事どうや？」でもなく…「頑張ってるか？」でもなく…「笑ってるか？」と聞かれます。

皆さん笑ってますか？川柳で笑ってくれましたか？

自分も笑って、相手も笑える…そんな支援を心掛けたいと思っています。

笑いには病を遠ざける効果が医学的に認められています。

・笑わない人の介護認定リスクは 1.4 倍
　認知機能低下リスクが 2.1 倍
　脳血管障害の割合 1.6 倍、心疾患の割合 1.2 倍 など

また子供の発達ではパンデミック以降、幼児の言語機能が 6 割程度に留まったとの報告もあります。
コロナ禍では、笑いが見えにくく、笑う機会を奪い、時には笑うことを躊躇わす、そんな日常を作り出しました。

だからこそ、いつもより少し多めに笑いを取り入れる、クスッと笑える演出・環境を準備する、利用者の部屋やデイルームの掲示板、デモ用紙の最後にチョコっと笑いを、そんな工夫をしてみませんか。そんな笑顔になるための支援を考えるだけで、自分の笑顔も始まります。
今も明日も、皆さんの温かい笑いが、沢山の方の支援に繋がることを願って。ご高覧ありがとうございました。

会長だより

西井　正樹

平素より県士会活動にご協力いただきましてありがとうございます。このコロナ禍でいろいろと県士会活動に制約がある中、様々な研修会等を企画していきますので、ぜひご参加ください。

さて、今回の「会長だより」では、会長の仕事について説明させていただきます。会長の 1 番の仕事は、当然士会運営の総責任者という立場ですが、外向けにはどのような仕事をしているのかを説明します。まずは、奈良県内の県庁・および市町村行政とのパイプ役となります。特に、医療・介護・障害分野の各課への挨拶や要望等を伝える立場にあります。最近でも Zoom による県へご挨拶と現状報告をさせていただきました。また、過去には荒井知事にも一度ご挨拶をさせていただきました。行政からの依頼にも応えていきます。

次に、各種団体とのかかわりになります。奈良県医師会・看護協会、障がい者団体との調整を行います。年に 1 回奈良県医療福祉協議会として、各種団体が年末に集まります。団体の長が参集しますので、名刺交換や近況報告などを行います。

他にも、日本作業療法士協会・近畿作業療法士連絡協議会など、作業療法士のつながりを深めるために、日本作業療法士協会の組織図にもある 47 委員会に出席をします。ここでは、協会より情報をもらい、各士会の部局におろすことや協会内で奈良県の状況を踏まえ意見を言うことが主となります。この委員会では、各県からの現状・取り組みなどが紹介されますので、大変参考になります。来年度からは、日本作業療法士協会の組織から独立し、通称「よんぱち」といわれる団体を作り、運営していきます。今までの 47 委員会と変わりはないのですが、日本作業療法士協会の組織の一部ではなく、各士会の会長と協会長が運営するため 47 都道府県プラス協会で「よんぱち」となります。近畿作業療法士連絡協議会は、近畿学会や各種事業を補完的に運営していくことをしています。以前は、奈良県の作業療法士の人数も少なく、いろいろと力を借りていましたが、皆さまのご協力もあり、いろいろな取り組みを近畿各士会に提供できるまでに成長しました。一昔前は、会員数も少なく、滋賀・和歌山で競い合っていましたが、会員数では中の下くらいの位置まで増えてきました。

他にもいろいろと仕事がありますが、多職種の方や作業療法士と知り合いになれてやりがいを感じています。しかし、以前のように「ちょっと飲みに行きましょうか？」はまだまだです。

最後に私事ながら、今年の 11 月 3 日に奈良市の功労表彰をいただくことになりました。長年の介護認定審査委員による表彰です。大変名誉なことであると感じています。

皆様もぜひ県士会活動に参加していただき、会長職を担う人材を目指していただきたいと切なる願いであります。今後ともよろしくお願いします。

各部局からのお知らせ

学術局

辰己　一彦

秋も一段と深まり、少しずつ冬の気配も感じられます。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

学術部研究助成委員会では、会員による学術活動を促進するために、研究報告を公募にて選定し、最大 10 万円の活動助成を行っています。多くの会員の方からのご応募をお待ちしております。

また、各種委員会でも様々な活動を行っております。身体領域、精神領域、発達領域、老年・地域領域、福祉用具・運転委員会などでウェビナーを企画・検討しております。活動内容にご興味のある方はご連絡をお待ちしております。委員とともに専門領域の知識を学びましょう。

事業部

坪内　善仁

深秋の候、皆様におかれましてはご清祥にお過ごしのことと存じます。

2022 年度も事業部主催のセミナーには非常に多くのお申し込みとご参加を賜り、厚く御礼を申し上げます。引き続き、下半期も積極的にご参加いただけますと幸いです。12 月 4 日（日）には、浅香山病院の川村明代先生をお招きして「明日から使える園芸療法（仮）」を開催します。多領域で取り組まれる園芸や畑作業の意味や工夫、適用法について、改めて解説していただきますので、ぜひご参加ください。講座の詳細は、改めてホームページ等でご案内致しますのでご確認ください。なお、講座申し込みに際して、事業局よりお願いがございます。確実に講座案内・資料配信を行うため、できるだけ携帯キャリアアドレス（～docomo.ne.jp,～au.com 等）を避け、PC メールアドレスのご登録をお願いいたします。

現在、事業局では次年度の事業計画を検討しております。県士会会員の皆様のご意見を取り入れ、より充実した内容にしていきたいと考えております。「こんな講座を聴きたい」、「こんな企画が欲しい」など、ご意見がございましたら、事業局（naraot2013@gmail.com）までご一報ください。同時に、事業局で一緒に活動していただける先生を募集しております。

今後とも、事業局活動への御協力をよろしくお願いいたします。

教育部

木納　潤一

『臨床実践報告書』の作成をサポートします！

認定作業療法士になるための条件として、2021 年度までは「事例登録」を最低 1 例必要でした。この制度は休止しており、その代わりに「臨床実践報告書 5 例」というのがあります。これは、「事例登録」の書式よりも文字数は少ない設定であり、認定作業療法士の助言と指導によって報告書を完成させます。教育部では、会員から臨床実践報告書を受け付け、奈良県内の認定 OT に指導を依頼し、完成するまでをサポートします。

臨床実践報告書を提出した会員と、指導をする認定 OT は、互いに匿名にして、教育部が仲介してメールで添削・修正を繰り返していきます。認定 OT 取得を目指している方は、是非この制度をご利用ください。詳しくは、奈良県士会ホームページの中央から下（研修会情報）をさらに下にスクロールしていただき、ご覧ください。

また、下半期には現職者共通研修と事例検討会を下記の日程で開催します。こちらもメルマガやホームページをご確認ください。

現職者共通研修		事例検討会	
11 / 19	作業療法における協業後輩育成	1 月下旬	身体障害領域
12 月中旬	作業療法の可能性	2 月中旬	発達障害領域
1 月中旬	実践における作業療法研究	3 月上旬	認知症・老年期
		3 月中旬	精神障害領域

事務局

毛利　陽介

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、8 月の理事会にて代議員選挙管理委員会が発足されました。今年度の総会で代議員制度が承認され、来年度からは会員から選出された代議員により総会の決議がされます。

11 月中には代議員選挙公示の予定です。HP やメールマガジンにて広報いたしますので、ご確認をお願いいたします。

また、会員資格の喪失についても変更があり、会費未納による資格喪失が 2 年から 1 年に変更されております。今年度中に会費の支払いがない場合は退会となりますので、必ず今年度中に会費の納入をお願いいたします。

当士会では福利厚生の一つとして「産休・育児休暇に伴う休会」の制度があります。出産をされた次年度の年会費が無料となります。ぜひご利用を頂き、子育てと仕事の両立をしてほしいです。(HP から申請用紙をダウンロードしてご利用ください。)

現在、協会が運用している会員管理システムと県士会の情報の整合を進めております。所属の移動や苗字の変更などがあった場合には速やかに県士会事務局と協会事務局へご連絡を下さいますようお願い申し上げます。

事務局財務では皆様からお預かりした会費を適切に運用・管理致します。

予算の収益のほとんどが会費収入となっており事業の運営には皆様の会費が不可欠です。

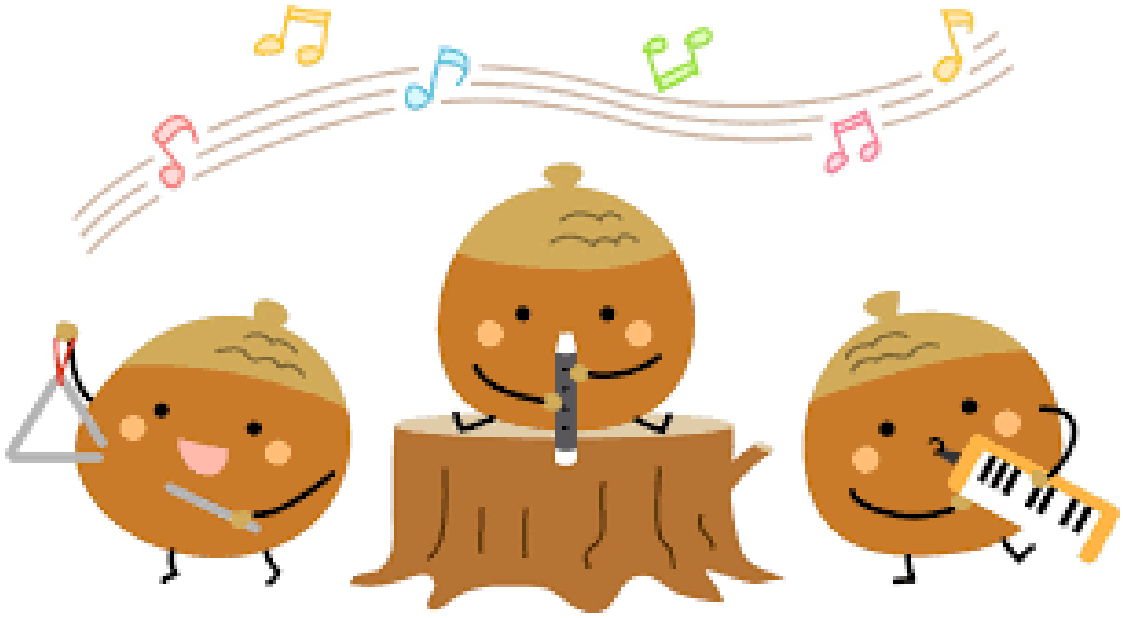
まだ、会費を納入されていない会員の方は速やかに納入をお願いいたします。

◎会費　　：10,000 円
◎新入会員　：11,000 円

ゆうちょ銀行振替口座　　(郵便局の振込用紙をご利用下さい。)
口座記号番号　　００９３０－０－２３３８３９番
口座名称(加入者名)　　一般社団法人　奈良県作業療法士会

※この口座を他行等から振込される方は下記内容をご指定下さい
店名(店番)：〇九九(ゼロキュウキュウ)店　（０９９）
預金種目：当座　　口座番号：０２３３８３９
※振込書には氏名・住所・連絡先・所属を記載して下さい

以前使用していた、南都銀行の口座は使用できません。
お問い合わせ：事務局　0745-47-0823　　事務局長　毛利　陽介



ブロックだより

奈良ブロック

渡邊　俊行

秋晴れの陽気が心地よい季節となりましたが、会員のみなさまにおかれましては変わりなくお過ごしでしょうか？

昨年 10 月から奈良ブロックになり 1 年が経ちました。各病院・施設間での交流を密に図っていきたいと考えておりますが、コロナ禍もあり全く交流が図れていないのが実情です。

今年度も冬に、対面ではなくオンラインでのブロック研修会を予定していますので、ご参加をお待ちしています。ブロック研修会の案内はメールマガジンで行うため、メールマガジンへの登録がまだの会員は、この「まほろば」にも QR コードが記載されていますので、登録をお願いいたします。

なお、今年度の会費納入や移動などの変更処理がお済みでない会員は、速やかな手続きを重ねてお願いいたします。

東和ブロック

田中　陽一

秋の声が聞こえる美しい季節が到来しました。奈良県作業療法士会員の皆さまにおかれましては日頃より県士会の活動にご理解を賜り、誠に有難う御座います。

11 月には 4 ブロック制になって初めての東和ブロック研修会も行われます。現在開催に向け、誠意準備しておりますので奮ってご参加のほど宜しくお願い致します。

また、今年度の奈良県作業療法士会の年会費納入がお済みでない会員の方はお早めに納入手続きをよろしくお願い致します。

西和ブロック

塩田　大地

日頃は奈良県作業療法士会の活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

来年度には奈良県作業療法士会が担当の第 43 回近畿作業療法学会が開催される予定です。現在実行委員を中心に準備を進めておりますので、奈良県士会の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

また今年度の奈良県作業療法士会の年会費納入がお済みでない会員の方は納入手続きをよろしくお願い致します。

中・南和ブロック

片岡　歩

季節の変わり目となってきました。皆様いかがお過ごしでしょうか？
体調管理が難しくなる時期ですのでくれぐれもご自愛頂きますようお祈り申し上げます。

さて中南和ブロックでは年明けに研修会を予定しております。現在、内容を検討しています。なるべく多くの方に興味を持って頂けるような内容にしていきたいと思っていますのでいましばらくお待ちください。

今年度の奈良県作業療法士会の年会費納入がお済みでない方は納入手続きの程よろしくお願い致します。

委員会だより

MTDLP 推進委員会

～皆様の職場での MTDLP 実践を支援します！！！～

当委員会では、生活行為向上マネジメントの基礎研修を履修した会員に対して、現場での MTDLP 実践をサポートいたします。

「職場で作業療法の臨床思考過程を学ぶ機会が少ない」
「MTDLP の基礎研修を終えたけど、実践する為のシートの書き方が分からない」
「シートを作ってみたけど、これで良いのか不安」
「興味はあるけど、どうしてよいのか分からない」
「基礎研修の内容忘れたけど、とりあえずやってみたい・・・」

このような会員は、是非とも当委員会にご一報ください。MTDLP 指導者および実践経験者が、お手伝いをさせていただきます。

指導に関しては、オンライン・対面など柔軟に対応させていただきます。勿論費用も無料です。この機会に、MTDLP 実践を始めてみてはいかがでしょうか？

MTDLP 推進委員会委員長
北別府慎介（西大和リハビリテーション病院、MTDLP 指導者）
連絡先：skitabppu@yahoo.co.jp

認知症支援委員会

寒くなって参りましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

認知症支援委員会では、皆様が日ごろ認知症支援に関してどのようなことを学びたい・困っているのかを知るために、会員の皆様にアンケートを取らせて頂きました。お忙しい中多くの方にご協力頂き、ありがとうございました。その結果より、行動・心理症状（BPSD）の基礎や対応方法を学びたいという意見が最も多かったため、今年度は BPSD に関する研修を予定しております。12 月中旬に BPSD の基礎研修、年明け以降で BPSD の対応例研修を行う予定です。日程が決まり次第報告致します。

また、地域包括ケアシステム委員会と合同企画研修も予定しております。地域で起業・活躍する講師の先生をお招きして、地域で働く醍醐味や求められることなど地域支援の実際を通して『地域で働く』イメージを皆様に持ってもらえたらと思います。

合同企画研修は令和 5 年 1 月 13 日（金曜日）19 時開催を予定しております。

さらに詳細が決まればご報告致しますので、多くの皆様のご参加お待ちしております。

委員長　千葉　亜紀
所属：秋津鴻池病院
お問い合わせ　0745-63-0601

地域包括ケアシステム委員会

会員のみなさま、県内各地で開かれている地域ケア会議では、ほぼ全てのケースで「コロナが続き〇〇ができなくなった」というケアマネージャーからの説明が続きます。今こそ私たち作業療法の力で「生活不活発」「フレイル」を予防していくことが重要です。当委員会では、引き続き Web を活用した研修会を通して、多くの会員に地域の現状を知ってもらい、作業療法の力で県民の生活を支援できる知識と技を学んでもらいます。

令和 4 年度の研修会についても、地域包括ケア OT 推進リーダー研修をはじめ、最新のトピックを中心に開催を企画していきます。

地域局　地域部　地域包括ケアシステム委員会
委員長　安井　敦史
所属：株式会社 UT ケアシステム
ユーティー訪問看護ステーション
リハビリデイサービス UT 広陵
お問い合わせ　090-1676-9898

エッセイリレー

大事にしていること

高井病院
白井彩花

私は作業療法士になって 2 年目です。当院へ入職してから回復期病棟で先輩方の指導の元、日々勉強しています。そんな私がコロナ禍だからこそ、より大事にしないといけないなと感じたことについてお話したいと思います。コロナが流行ったのは私が OTS3 年生の頃でした。学校や 2 年生の実習先で出会った患者様とコミュニケーションをとる際、フェイスシールドやマスクをしていなかったため口元は必ず見えます。口元がみえることで口角が上がって笑顔であること、下がっていると笑顔じゃないことはすぐにわかります。笑顔があまりない患者様との会話でも療法士が笑顔で話すことで自然と会話も弾み、患者様から笑顔が生まれます。

そんな私がコロナ禍でのリハビリでより大事にしようと思ったことは、「表情管理」です。マスクやフェイスシールドをすることで表情を読み取る手段が目の動きと声の抑揚しかないということです。患者様と顔を合わせた際、必ず目を先に見ます。口元がみえないからこそ目の動きや声の抑揚が大事となり、患者様に療法士の印象付けるものになると思います。患者様にとってリハビリは毎日しんどいものだと思います。その中でも「あなたの笑顔を見ているとリハビリも頑張れる。あなたにリハビリしてもらえて良かった」と言って頂ける OT になるために、表情管理はもちろん勉学にも励み、日々精進していきます

次回は、天理よろづ相談所病院　竹下 ゆりえ　さんです。

施設紹介

橿原市子ども総合支援センター
児童発達支援事業所　かしの木園

橿原市子ども総合支援センターは、橿原市内の乳幼児期からの子ども達を対象に、保健・福祉・教育等の総合的な視点から、療育・相談・研修等を行う施設です。現在、作業療法士 4 名の他、子どもの発達に関わる様々な専門職で構成され、センター全体で計 37 名が在籍しています。

児童発達支援事業所かしの木園は、橿原市子ども総合支援センター内に所属しており、橿原市と高取町、明日香村を対象地域としています。運動発達や言葉や行動の発達が気になる子ども達に対して、集団療育（少人数グループによる療育）、個別療育（理学療法・作業療法・言語療法）、発達評価、育児相談、音楽療法等を行っています。また、地域の所属園や、就学先小学校等の関係機関と連携を持ち、保護者の方とも相談をしながら包括的な支援を行います。これらの総合的な関わりを通して、個々の持っている力を生き生きと発揮できるような支援を心掛けています。

作業療法では、日常生活動作や感覚統合機能、対人関係、情緒の安定等の発達を促進するために、遊びを中心とした療育を行っています。トランポリンやクライミング、様々なスウィング等の感覚統合遊具が充実していますが、作業療法士 4 人で話し合いながら、新しい遊具を手作りしたり、遊具の使い方のアイデアを出し合ったりして、子ども達がワクワクできる Just Right Challenge な遊びを展開していけるよう心掛けています。また、公的機関としての特性を活かして、橿原市内の所属園への巡回相談や学校訪問、かしの木園の子ども達の所属園との参観やケア会議の実施、発達相談を利用されている子ども達への作業療法士による相談、就学時の小学校への申し送り会議等にも携わっています。センター内・地域の多職種の方々とのつながりを大切に「地域における発達作業療法士の役割」を追究していきたいと思います。

奈良県作業療法士会
メールマガジン登録のお願い

mail magazine

来年度より

広報誌まほろば は
印刷・発送は廃止し、

メールマガジンやホームページでの公開となります。

研修会情報やお知らせなどの情報取得のため、是非メールマガジンの登録をお願い致します。

登録方法

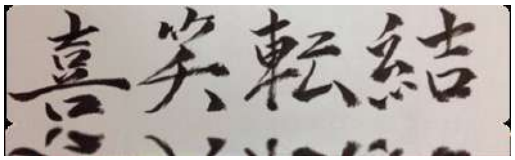
①QR コード読み取る→

必要事項の入力

or

②空メール送信

宛先：naraot@w.bme.jp



片麻痺になってから買って良かったもの

こんにちは。優子です。今回は片麻痺になった時に「これ良い！」と感動したものを紹介します。
※私個人の意見なので違う場合もありますが、その点はご容赦下さい…（笑）

１．シャンプーブラシ
片手になってから頭洗うのが大変だなと思っているときに美容が趣味な妹から教えてもらいました。私は頭皮が弱いので某美容メーカーのシャンプーブラシ(ソフト)を使っています。ちゃんと洗えている感じがして好きです。

２．ゴムベルト
ズボンを履くとき、ベルトが片手で付けられなくてどうしようかなと思っている時に九州の片麻痺会のメンバーから教えてもらいました。100 円ショップで売っているのとネット購入のベルトを両方持っています。これから冬が来るので愛用すると思います。

３．大手生活雑貨店のルームシューズ
一番買ってよかった！と思っているものかもしれません。
何気なく買ったのですが、かかとがゴムで固定されてて脱げないのと下に滑り止めがついているのでとても歩きやすい所が好きです。

編集後記
片麻痺になってしまってからこういう便利グッズ探しが楽しくなりました。これからも色んなグッズを探して、生活を楽しんでいきたいと思います。

問い合わせ

部局長

事務局
白鳳短期大学
事務局長　毛利　陽介
TEL(0745)-32-7890
FAX(0745)-32-7870

教育部
秋津鴻池病院
部長　木納　潤一
TEL(0745)-63-0601
FAX(0745)-62-1092

事業部
奈良学園大学
部長　坪内　善仁
TEL(0742)-95-9800
FAX(0742)-95-9850

学術部
株式会社 UT ケアシステム
部長　辰巳　一彦
TEL(0744)-20-3353
FAX(0744)-20-3354

保健福祉部
天理よろづ相談所病院
白川分院
部長　前岡　伸吾
TEL(0743)-61-0118

ブロック長

奈良ブロック
関西学研医療福祉学院
ブロック長　渡邊　俊行
TEL(0742)-72-0600

東和ブロック
自宅会員
ブロック長　田中　陽一
TEL078-304-3180

西和ブロック
西大和リハビリテーション病院
ブロック長　塩田　大地
TEL(0745)-71-6688

中南和ブロック
かつらぎクリニック
ブロック長　片岡　歩
TEL(0745)-69-0807

※県士会登録・異動・退会・休会・会費などについては、各所属ブロック長へお問い合わせ下さい。

委員長

地域包括ケアシステム
株式会社 UT ケアシステム
ユーティー訪問看護ステーション
リハビリデイサービスＵＴ広陵
委員長　安井　敦史
TEL090-1676-9898

MTDLP 推進委員会
西大和リハビリテーション病院
委員長　北別府　慎介
TEL(0745)-71-6688

認知症支援委員会
秋津鴻池病院
委員長　千葉　亜紀
TEL(0745)-63-0601
FAX(0745)-62-1092

運転委員会
奈良県総合リハビリテーションセンター
委員長　林　朋一
TEL(0744)-32-0200
FAX(0744)-49-6424

広告に関するお問い合わせ

広告掲載について、賛助会員に入会して頂ければ、掲載可能です。ご希望の方は以下にお問い合わせ下さい。
申 込 先：白鳳短期大学
　　担当　毛利　陽介
連 絡 先：TEL　0745-60-9007
　　E-mail:otnarajimu@yahoo.co.jp

求人広告

株式会社　gene

ユーティー訪問看護ステーション
リハビリデイサービス　UT広陵
発達支援ルーム　UTキッズ

当事業所は「理想の在宅ケアを追究する」をモットーに身体機能だけでなく、生活・暮らしを考えたリハビリを行なっています。療法士は総勢 30 名在籍していますが、横のつながりは強く、皆仲良く働いています。勉強会も定期的に行っており、安心して仕事に取り組んでいただけます。
私たちと一緒に地域のリハビリを盛り上げていきませんか？

【募集人員】　若干名
【雇用形態】　OT・PT・ST（常勤　非常勤）
【業務内容】　訪問看護ステーションからの訪問リハビリ
　　小児・高齢者デイサービスでのリハビリ業務
【訪問地域】　奈良県広域
【勤務時間】　9:00～18:00
【給　　与】　当社規定による（実績・経験に応じる）
【休　　日】　原則週休 2 日（相談に応じます）
【社会保険】　完備
【職 員 数】　Ns6 名　OT20 名　PT5 名　ST6 名　CW4 名
【応募方法】　電話にて随時受け付けています
　　お気軽にお問い合わせください

<u>お問い合わせ先</u>
株式会社ＵＴケアシステム
〒634-0007　奈良県橿原市御坊町 152
電話：**0744-20-3353**　FAX：0744-20-3354（担当：阿部）
URL:http://utcaresystem.com

株式会社ハッピーサービスグループ

Make People Happy Through Your Work

仕事を通じてひとびとを幸せに

ハッピーサービスグループ
Happy Service Group

正社員　募集要項　※非常勤も募集しています	
事業所名 **所在地**	①　訪問看護ハッピーリハビリ＆ナースステーション　（奈良市六条 2-18-1） ②　発達支援リハスタジオ　ハッピーリング西ノ京　（奈良市六条 3-1-15） ③　発達支援リハスタジオ　ハッピーリング plus（奈良市六条 2-10-15） ★マイカー通勤可能・駐車場無料★最寄り駅：近鉄「西ノ京駅」より徒歩　約 15 分
給与	《月給》【A】経験 3 年以上　275,000 円～／【B】経験 3 年未満　200,000 円～ 《通勤手当》 定額　10,000 円（超える場合は、実費支給） ★①のみ　訪問手当　訪問件数 60 件超えにつき、1 件 2,000 円 ★②③のみ　特別処遇改善加算による技能手当　10,000 円 ※試用期間 1～2 ヶ月　時給　【A】1,400 円 【B】1,100 円～・通勤交通費　500 円／日
勤務時間	8：30～17：30　（うち休憩 60 分）
休日	年間休日　112 日　（リフレッシュ休暇 3 日・アニバーサリー休暇 1 日あり） 定休日：日曜日、週休 2 日制 ★短時間正社員制度あり！仕事と子育ての両立を応援いたします。
お問合せ先	**★見学・面接、随時受け付けております！お気軽にお問い合わせください★** 株式会社ハッピーサービスグループ　（担当：法人本部　採用担当） 〒630-8043　奈良県奈良市六条 3-1-15 TEL　0742-52-8880 E-mail: recruit@happy-service.co.jp URL: https://www.happy-service.co.jp

事業拡大のため増員募集中です！

社会福祉法人橿原市手をつなぐ育成会

奈良県が認証した　『安心して働ける職場』です！

所 属 先：なら子ども発達支援センターふぁ～すと
住　　所：奈良県橿原市古川町 256-1
業務内容：福祉型児童発達支援センターにおける発達の気になる
　　未就学児（発達障害児等）に対する療育的支援 等
雇用形態：正職員・非常勤職員
募集人数：３名
募集条件：経験者のみ
勤務時間：正職員：９：００～17：４５　非常勤：応相談
休　　日：日曜日と月～土のうち１日（年間休日数 127 日）　非常勤：応相談
給与条件：基本給　　210,000 円～300,000 円
　　資格手当　10,000 円
　　扶養手当　6,500 円（配偶者・父母）、10,000 円（子１人まで）、6,500 円（子２人目～）
　　住宅手当　27,000 円（賃貸上限）、10,000 円（持家５年目まで）、4,300 円（持家６年目以降）
　　通勤手当　55,000 円上限
　　奨学金返還支援助成金手当月額 10,000 円（返済開始後 10 年を限度とする）
　　昇給年１回　賞与年２回　計 4.5 月（前年実績）
　　非常勤：時給 1,500 円～1,700 円　通勤手当 55,000 円上限で日割り計算します。
加入保険：雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金（非常勤については勤務状況により加入します）
退職金等：福祉医療機構退職手当共済制度並びに法人独自の退職金制度の２本立
応募方法：お気軽にお問合せ下さい。就業事業所については面接等でお話しさせて頂きます。

〒634-0075　奈良県橿原市小房町 13 番２号
綜合施設長　北川　登（きたがわ　のぼる）
TEL：0744-23-7467　FAX：0744-47-1009
URL：http://k-ikusei.or.jp
E-Mail：kasiharaikusei@ace.ocn.ne.jp